

# 例会報告

## 第2505回例会報告議事録

日時 29年12月12日(火曜日)  
場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室  
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」  
ゲスト：プロボクサー セレス小林様  
(WBA世界スーパーフライ級チャンピオン)  
ビジター：なし  
オブザーバー：柳田 実 様  
S.A.A.：依田会員

## 会長挨拶

服部会長



12月5日の年次総会、出席委任状合計22名の議決によって2018-2019年度の荒井会長年度の役員が決まりました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)の案内が来ていることを先週お話ししましたが、回覧を用意しましたので希望される方はお名前をご記入ください。3日間ありますが、第1回目は2月12日(月・振替休日)です。

新年の例会は1月9日(火)角松旅館で行います。秋の叙勲で旭日双光章を受章された佐藤会員のお祝いを兼ねた新年例会といたします。

我孫子市の白山中学校の駅伝部が全国中学駅伝大会に出場することが決まりました。支援の募金をすることに理事会で決まりました。募金箱をお回ししますので、お気持ちのある方はぜひよろしく願いいたします。

定款の差替えが先週の理事会で決まりました。今日、定款を配布させていただきました。

細則ですが、入会金の10万円はここ10年程徴収しておりませんので、入会金をはずして会費のみと細則も変更させていただきました。

## 親睦委員会報告

米田委員長



本日は特にございませんが、新年会のご参加の方よろしく願いいたします。

## 出席報告

渡邊委員長

18名出席(全員で25名) 出席率72.0%

欠席者が7名。

業務の為:石原会員、今井会員、上村会員、倉持会員、関根会員

## 幹事報告

村越幹事



- ・12月19日は通常例会。  
2月26日と来年1月2日は休会。  
来年1月9日は新年例会。
- ・白山中駅伝部の全国大会出場に関する寄付のお願いですが、私が以前、白山中のPTAをやっていた関係で少し詳しくお話させていただきます。

先日、千葉県の中学校駅伝大会で白山中が男女共に総合優勝しました。男子は今年は優勝も狙えるのではないかとされています。12月3日に行われた関東大会では男子がぶっちぎりで優勝、女子は4位でした。

お気持ちで結構ですので集まった額を我孫子ロータリークラブからということで今日、この例会の後、白山中学校にお持ちしたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



WBA世界スーパーフライ級チャンピオンのセレス小林です。今日はよろしくお願ひします。

ベルトを一応持って来ました。これはWBAという一番歴史の古い団体の僕のベルトです。WBCというのは緑のベルトで、先日うちの教え子の岩佐亮佑が取りましたIBFというのは赤いベルトです。WBOというのは茶色のベルトです。世界チャンピオンのベルトは協会から買う形になっていて一生自分の手元に残ります。

自分は走るのは大変苦手ですが、スポーツは小さい頃からいろいろやっていて、小学校では野球、サッカー、中学校ではハンドボールをやりました。サッカーが一番好きなスポーツだったのですが、自分の地元、茨城県坂東市の岩井中学校という全校生徒数1500名のマンモス校で、サッカー部分の見学に行ったら、すごい数の入部希望者がいて、うまい選手も知っていたので、これは勝てないなと思ひあきらめました。

いつからボクシングを好きになったかと言ひますと、高校生の時でした。たまたまテレビで世界戦を見て、日本人が何度も倒れながら立ち上がってチャンピオンに立ち向かう姿をカッコいいと思ひ、チャンピオンをあわやという所まで追い込んだので、それを見て感動しました。それが大橋ボクシングジムの会長をやっている大橋秀行さんという方の試合でした。それから、その選手のことを調べ、ボクシングマガジンという雑誌を買うようになりました。

当時、テレビの各チャンネルで月に1回ボクシング番組を深夜に放送して、それを録画して見ていました。最初は見るだけだったのですが、高校2年生の冬に、俺もあのリングにあがりたいたいと思ひ始めました。

自分の実家は鉄骨関係の仕事をして、親父と兄貴と従業員でやっていたのですが、親父は当然、高校を卒業したら僕が家で親父と働くものだと思ひていましたから、ボクシングジムに通うだけならよかったです。プロボクサーを目指すのなら東京の寮に住まなければならなかったのですが、それを親父に話したら大反対でした。

当時、ボクサーと言うと、ボクサーくずれと言ひて、ボクサーをやっているダメになると逸れた道に行ってしまうというイメージがあり、僕もどちらかという真面目な生徒ではなかったから、親父はそこらへんが心配だったみたいです。

ただ、そこで後押ししてくれたのが6つ上の兄でした。ボクシングという、家の仕事とは違う世界でも、外の世界を見て来るのは大事な事だからと親父に話してくれました。お袋の方は、僕はちゃんぽらんなので、すぐに帰ってくるから大丈夫だろうと思ひたそうです。

そして高校卒業後、就職はせずに、東京の三河島にあるボクシングジムの寮に入り、ボクシング人生のスタートを切りました。

6畳の部屋に男3人で、2段ベッドが1つしかないから最後に入ってきた僕は布団をしいて寝ていました。3DKに男9人がいる寮でした。男9人という、臭いし、汚いし、洗濯物も干したら干しっ放しだし、トイレに入るのも大変という生活でした。

最初のうちはボクシングができて楽しくてしょうがなかったのですが、1、2週間たつとホームシックにかかりました。今までは洗濯物をボンと置いておけばお袋が洗ってくれたり、腹減ったと言ひば飯が出てきたりしたのですが、全部自分でやる状況になり、練習もアルバイトもあり、つらくなりました。そういう時に当時は公衆電話で家に電話して兄貴に泣き言を言ひ、兄貴がもうちょっと頑張れよとか言ってくれました。

朝5時に起床して、準備体操を少しして5時半くらいから10キロ走り、ジムで朝8時まで練習で、朝ご飯を食べて、僕の場合は9時半からアルバイトに行き、夕方6時から夜8時までジムで練習、門限が10時で電気が消されます。土曜日だけ門限がありませんが、そんなにお金がないから遊びには行けませんでした。

プロボクサーになるための試験があります。ルールの筆記試験と一番大事な実技試験です。リングの上でスパークリングで他のジムの選手と戦います。受かると一番下のC級ボクサーになります。

ボクシングは日本ランキング1位、世界ランキング1位の上にチャンピオンがいます。世界ランキング1位がチャンピオンではありません。

僕は練習の時は自分で勘違いするくらい強かったから、デビュー戦も余裕だと思ひて茨城の友だちに「絶対勝つから絶対見に来て」と軽口を叩いていました。が、なんとデビュー戦の日、ダウンを取られて判定負けでした。試合に負けた事も悔しかったのですが、精神的な自分の弱さを認めざるを得なかったのが悔しかったです。緊張して、入場の段階から地に足がついておらず、鐘が鳴って相手がせめて来たとなん、意味がわからなくなっていました。それまでの自信がガタガタとくずれました。精神的にもろいということはスポーツで一番だめなことです。(次ページへ続く)

一戦目は4月で、12月まで次の試合はやりませんでした。次に負けたらやめると決めていました。12月まで待って試合をやった時、なんとか勝つ事ができ、3連勝しましたが、次はまた負けました。

どうやったら強くなれるのか考えました。少しずつ自分の中で考えが変わってきて、等身大の自分を見つめられるようになってきました。それからは練習方法も変えました。

ボクシングという才能というのは、パンチ力、スピード、動体視力です。一番自分に足りないのは動体視力でした。今までの練習でだめなら、もっときつい事をやればいいのかと思い練習しました。

最高によかったことは自分を育ててくれたトレーナーと出会ったことです。元日本チャンピオンの方でした。他のコーチからは「もう、おまえは無理だ」と言われたこともあったのですが、その三浦コーチだけは負けた時も「おまえはいいものを持っているから辞めるな」と言ってくれました。そのコーチのおかげでなんとか日本タイトルを取る事ができました。

日本タイトルを取ることが目標だったのですが、その時「チャンピオンになったんだから、あとは負けるしかない。あとは一生懸命やるしかない」と三浦コーチが言ってくれて、僕はすごく気持ちが楽になりました。勝たなきゃ、勝たなきゃと思っていたのが、楽しもう、自分の力を出し切ろう、という気持ちになりました。

日本に敵がいなくなって、世界という話が聞こえてきました。フィリピンのチャンピオンでした。その対戦相手のビデオを見たら、想像以上に強くて、練習を頑張れば頑張るほど怖くなってきました。

その当時ちょうど子供は2歳くらいで、その女の子を寝かしつけながら、「あんな強いパンチをもらったら俺、生きてんのかな。俺が死んだらこの子はどうなるんだろう」と思いながら恐怖心が増してきました。日に日に試合が近付く中で、練習してることを信じてやるしかないと思えるようになり吹っ切れました。

試合はドローでした。試合の次の日、向こうの勝ちにしたジャッジが次の日に僕の勝ちにしたはずだと告白しました。誤審でした。ただ、まだおまえはチャンピオンになるのは早いと言われているような気がしました。数日後に、自分が勝っている夢を見ました。このままだと自分は一生このことをひきずっていくのではないかと思います、嫁や周りの人にもう一回やらせてくれないかと話しました。

1回目の世界戦はフライ級でした。フライ級は50.8キロです。僕は身長169cmで50.8キロというのはかなりの減量でした。2回目は52.1キロで挑戦することになりました。1.3キロの違いですが、こんなに楽なのかというくらいスムーズに行きました。

2回目の世界戦では1回戦目の時より怖くありませんでした。1度目の世界戦で世界チャンピオンとも互角にできるという自信が生まれたのと、練習も過去最高にいい練習ができたと思えたからです。楽しんで試合をすることができ、このベルトを奪う事ができました。

僕はデビュー戦で負けたことによって、本当の等身大の自分、本当の自分の弱さを知る事ができて、大事なところで負け続けて、自分を本当の意味で見ることができるようになり、世界チャンピオンになれたのだと思います。また、コーチから言われて絶対にやめなかったこと、それが世界チャンピオンになれた最大の理由だと思っています。

僕は今、柏でジムをやっていて、先日、岩佐亮佑という柏出身の選手がIBFのタイトルを取りました。アマチュア三冠のエリートでしたが、彼も苦労しました。彼は身長が173cmでバンタム級で53.5kgです。減量は相当きついです。敵地イギリスでのタイトル挑戦は失敗しました。その時、岩佐選手はボクシングをやめるかどうか悩んでいると話してくれましたが、「本当の負けというのは自分の夢をあきらめる時が負けなんじゃないか」と話したら岩佐は再起して、2度目の挑戦で念願の世界のベルトを取ってくれました。岩佐は最終的に日本タイトルのベルト、東洋タイトルのベルト、世界タイトルのベルトすべてを取る事が出来ました。

今は、4つの団体があり、世界チャンピオンも多くなり、本当に強くなければ有名な選手にはなれません。世界チャンピオンになって初めて海外の舞台にあがるチャンスをもたらすことができます。アメリカやイギリスで勝って帰ってくる事で有名になります。世界チャンピオンになったということは、岩佐にとってもジムにとっても、夢の入口に立ったという状態です。

ジムで常々選手達に言っているのは、ボクシングだけでなく人間的に強くなってほしいということです。正直、チャンピオンになれる人間はほとんどいません。ボクシングをやることによって、自分に自信を持ったり、これからの人生を頑張って生きて行けるようになってほしいと思っています。

ボクシングをやっている時間より、その後の人生の方が長いです。この子はちょっと危険だな、ケガをする前に辞めた方がいいと思うときは、どんなにさみしくても引退させます。その子の将来が大事だからです。

これからも、子ども達が学べるようなジムでありたいと思っています。今日は短い時間ですが、ありがとうございました。

## 質疑応答

Q：セレス小林さんのジムは、スカウトというより、育てるという考え方でしょうか。

A：うちのジムは基本は一から育てるジムです。岩佐も他の選手も育てて、外に出て戻ってくる選手が多いです。ただ、来年、日本ランキング1位の選手を初めてスカウトしました。大学生なのですが、なかなかよくて、礼儀正しくて、うちに来てもらう事になりました。

Q：20年くらい前に元チャンピオンの選手で目の周りの骨が折れて引退せざるを得ず、方向感覚も悪かった方が我が社にいたのですが、最近はそんな危険な事故はないのでしょうか。

A：正直、昔はとことん殴らせたのですが、それは健康管理上、問題だということで世界的に15ラウンドから12ラウンドになり、周りのロープも3本から4本になり、徐々に安全対策がしっかりしてきています。今は、スポーツということでストップが早くなっています。今はパンチドランカーはほとんどいないです。パンチをもらって膝に来る選手には辞めろと言っています。サッカーでヘディングシュートを多くする選手にもそういうことがあります。

Q：プロボクサーというのは日本に何人くらいいるのでしょうか。

A：自分がジムを始めた頃は4000人弱いました。今は半分くらいになっています。今はプロを目指す子は少ないです。

Q：ボクシングだけで食べて行けるようになるのはどのくらいですか。

A：ジムにもよりますが、平均的に言いますと、日本チャンピオンは一人なら食って行けます。1回の試合で100万として年に3回で300万で、家族がいたらむずかしいです。今のチャンピオンは景気が良かった15年くらい前のチャンピオンの半分くらいで正直かわいそうです。世界チャンピオンになったら1試合1000万くらいはもらえます。

Q：選手にスポンサーは付くのですか。

A：選手にもつきますが、ジムにも付きます。後援会というのがあります。世界戦だとスポンサーは集めやすいです。日本タイトルマッチだとお金を集めるのは大変です。ファイトマネーというのはどこからも出ないので、スポンサーに頼んだり、チケットの売り上げから出したりします。岩佐選手に払ったファイトマネーより多く売り上げないとジムの売り上げは上がらないので、頑張らないといけません。なかなか厳しいです。今は冬の時代です。皆さん、チケットお願いします。

Q：セレスさんのところのジムは一般の方は通っているのでしょうか。

A：うちは一般の方がほとんどで140以上です。女性の方が2割くらいで、一番上の方は66歳です。男性も70歳くらいの方がいらして、めっちゃめっちゃお元気です。嬉しい限りです。



本当に今日はなかなかうかがえないようなお話しをありがとうございました。またよろしく願いいたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
柳田 実 様	ありがとうございました。	1,000円
服部会長	セレス小林様 卓話ありがとうございました。	1,000円
村越幹事	セレス小林様 卓話ありがとうございました。 福武会員カレンダーありがとうございます。	1,000円
荒井会員	小林さん 卓話ありがとうございました！	2,000円
伊東会員	セレス小林さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村会員	セレス小林様 とてもいいお話し有難うございました。	1,000円
小池会員	セレス小林さん 卓話ありがとうございました。	3,000円
佐藤会員	前回 休ませてもらいました。	1,000円
瀧日会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
福武会員	小林さん ありがとうございます。	1,000円
藤本会員	福武さん カレンダー、小林さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
依田会員	セレス小林様ありがとうございました。 福武さん カレンダーありがとうございます。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
渡邊会員	セレス小林様 卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	16,000円
	今期累計	170,000円

今週の表紙「子の神大黒天」我孫子市寿2丁目27番10号

ネズミを使徒とする大黒天がまつられています。

源頼朝が行脚の途中に我孫子の近くで脚の病にかかった折、夢の中に白ネズミに乗った白髪の老人が現れ、ヒイラギの葉で頼朝の足を癒したと伝えられ、足腰の病にご利益があると言われる神社です。

毎年10月に行われる柴燈護摩(さいとうごま)火渡りは一般の人も参加できます。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。